

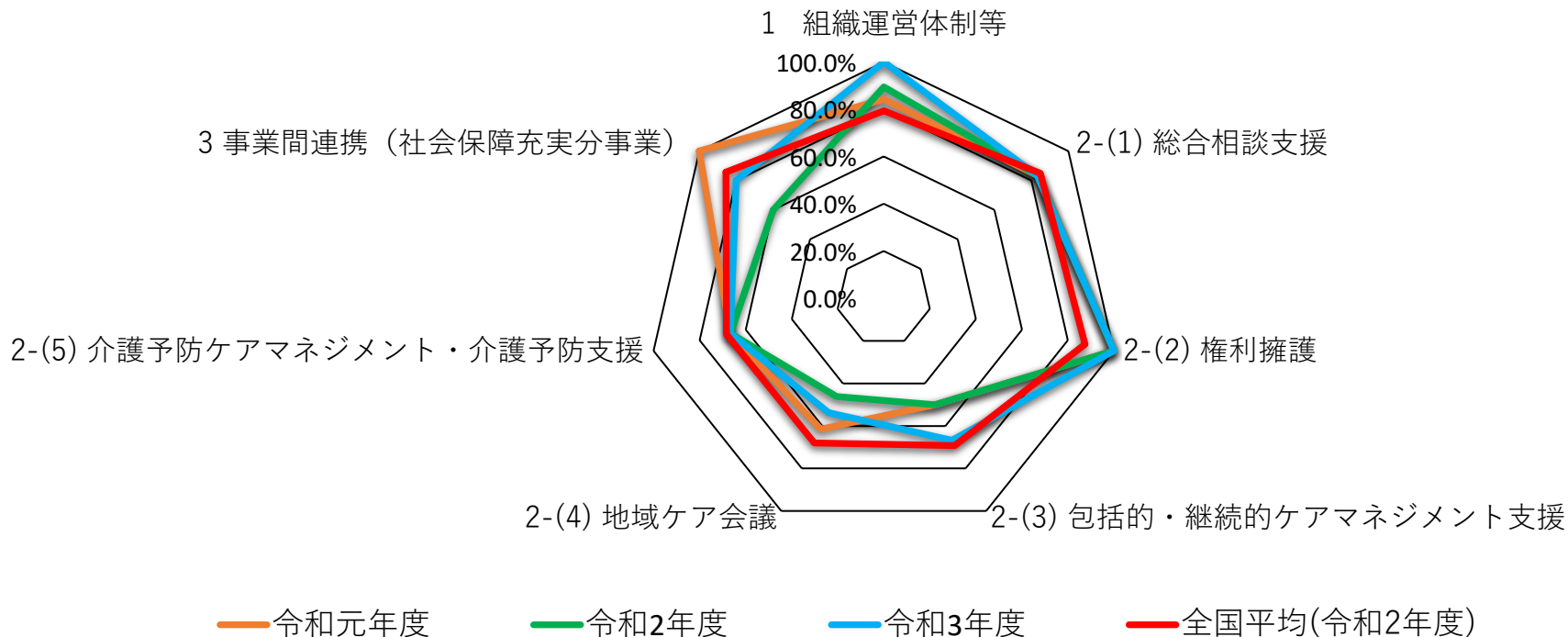
■レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は $4/6 = 66.7\%$ (小数点2位を四捨五入) となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、市町村の「特徴」が確認できます。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	全国平均 (令和2年度)
1	1 組織運営体制等	84.2%	89.5%	100.0%	79.4%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	83.3%	83.3%	84.8%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	87.4%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	50.0%	50.0%	66.7%	69.2%
5	2-(4) 地域ケア会議	61.5%	46.2%	53.8%	68.0%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	66.7%	66.7%	66.7%	68.4%
7	3 事業間連携 (社会保障充実分事業)	100.0%	60.0%	80.0%	85.6%



1. 小牧市の評価結果

- ・「組織運営体制」の項目については、令和2年度と比較して評価が上がりました。主な要因としましては、地域包括支援センターの3職種の職員数が充足したものと考えます。
- ・「包括的・継続的ケアマネジメント支援」の項目については、令和3年度よりケアマネジメント支援会議にて課題や支援に関するアンケートや意見収集を行ったことにより、令和2年度と比較して評価が上がりました。
- ・「地域ケア会議」や「事業間連携」につきましても、新型コロナウイルス感染症に注意を払いながら多職種連携カンファレンスや講演会、勉強会を開催したことから、評価が高くなりました。
- ・全体を通して令和2年度と比較して評価が上がっているため、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

2. 運営協議会からの意見等

令和3年度の評価を全国平均と比較すると若干低いが、小牧市の前年度と比較すると全て同じか高い評価になっており、安定している。

南部地域包括支援センターケアタウン小牧の評価結果

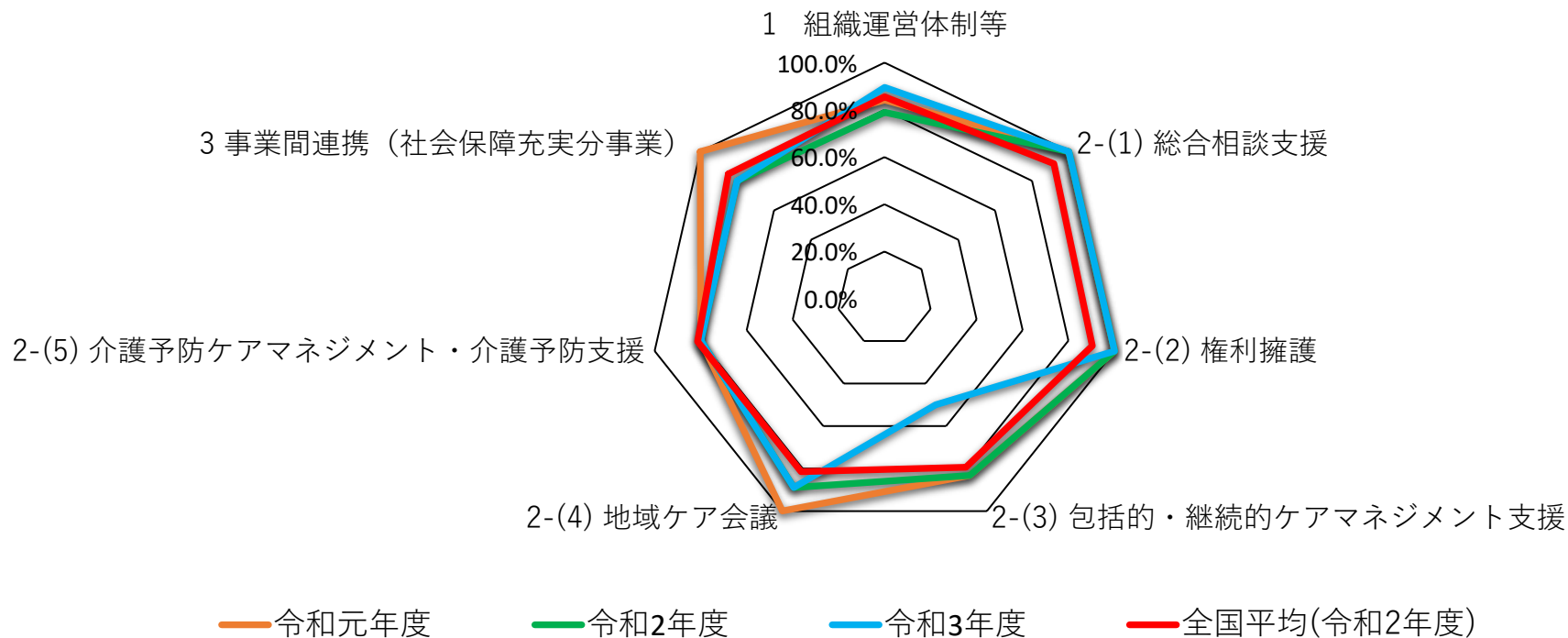
■レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は $4/6 = 66.7\%$ (小数点2位を四捨五入) となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	全国平均 (令和2年度)
1	1 組織運営体制等	84.2%	78.9%	89.5%	85.6%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	100.0%	91.8%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	90.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	83.3%	83.3%	50.0%	79.4%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	88.9%	88.9%	81.5%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	80.0%	80.0%	81.4%
7	3 事業間連携 (社会保障充実分事業)	100.0%	80.0%	80.0%	84.8%



1. 南部地域包括支援センターケアタウン小牧の評価結果

- ・ 開設5年目となり、全体的に各事業への取り組みや評価も安定してきています。
- ・ 「組織運営体制」の項目については、個人情報の管理体制を充足させたことにより、評価が高くなりました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会や出前講座等が開催できなかったことから、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」の評価が低くなりました。
- ・ 低くなった評価もありますが、全体的には、バランスよく事業が実施できました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況ではありますが、その中でもできる支援を工夫し、引き続き安定した事業運営を期待します。

2. 運営協議会からの意見等

新型コロナウイルス感染症の対策を講じながらバランスよく活動されている。
男性介護者の交流会の回覧を実施するといった周知の工夫を今後も続けていただきたい。

小牧地域包括支援センターふれあいの評価結果

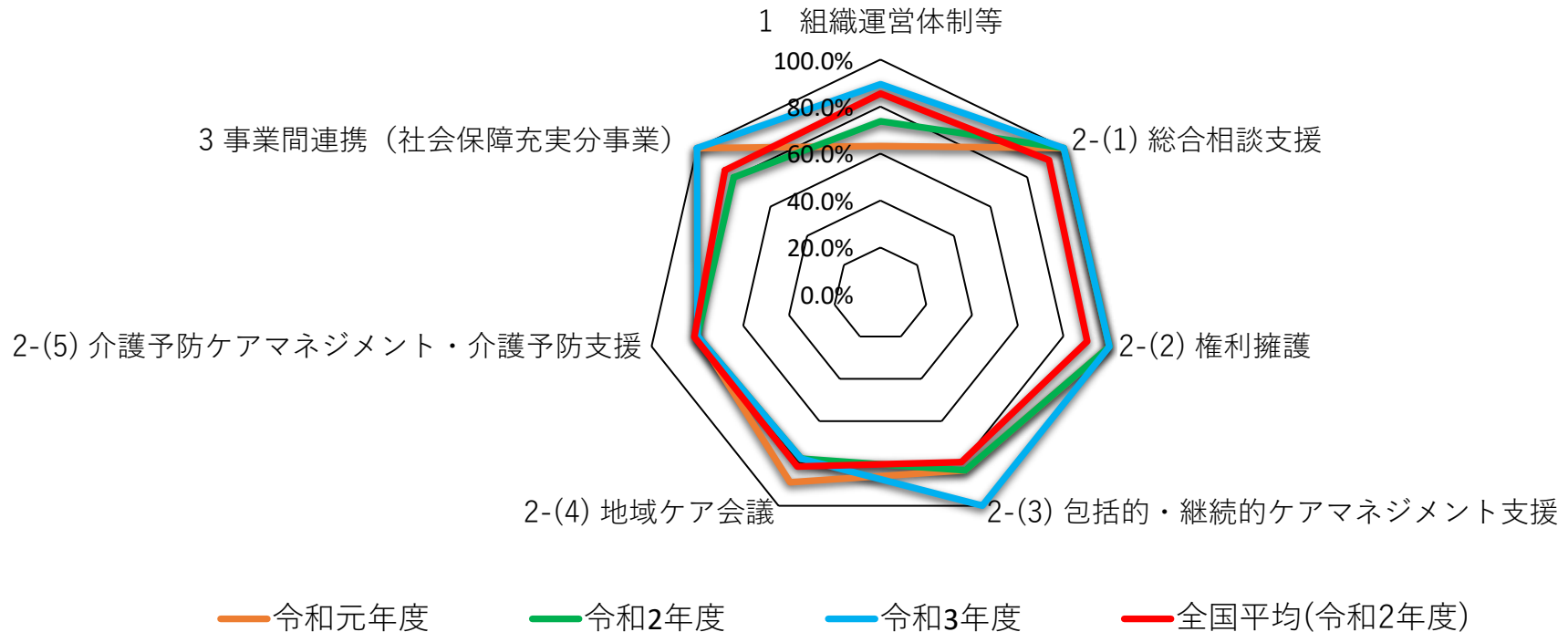
■レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は $4 / 6 = 66.7\%$ (小数点2位を四捨五入) となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	全国平均 (令和2年度)
1	1 組織運営体制等	63.2%	73.7%	89.5%	85.6%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	100.0%	91.8%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	90.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	83.3%	83.3%	100.0%	79.4%
5	2-(4) 地域ケア会議	88.9%	77.8%	77.8%	81.5%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	80.0%	80.0%	81.4%
7	3 事業間連携 (社会保障充実分事業)	100.0%	80.0%	100.0%	84.8%



1. 小牧地域包括支援センターふれあいの評価結果

- ・「組織運営体制等」の項目については、担当圏域の現状やニーズに基づいた重点項目の設定や、個人情報保護のための各職員への周知等を行ったことにより、評価が上がりました。
- ・「事業間連携」の項目についても多職種連携カンファレンス等に参加し、医療関係者と合同で事例検討に参加したことから評価が上がっています。
- ・全体を通して低くなった評価はなく、今後も継続して事業に取り組んでいただければと思います。
- ・2圏域を担当し、今後も高齢者数が増加していくことから、職員の人員確保に加え、職員間及び他機関との連携強化に期待します。

2. 運営協議会からの意見等

民生委員への地域包括支援センターからのコンタクトは非常に重要なことであり、今後も引き続き継続していただきたい。

地域包括支援センターを住民へPRしているが、なかなか行き渡っていないため、いろいろな媒体を活用しながら、啓発していくことが大切。

味岡地域包括支援センター岩崎あいの郷の評価結果

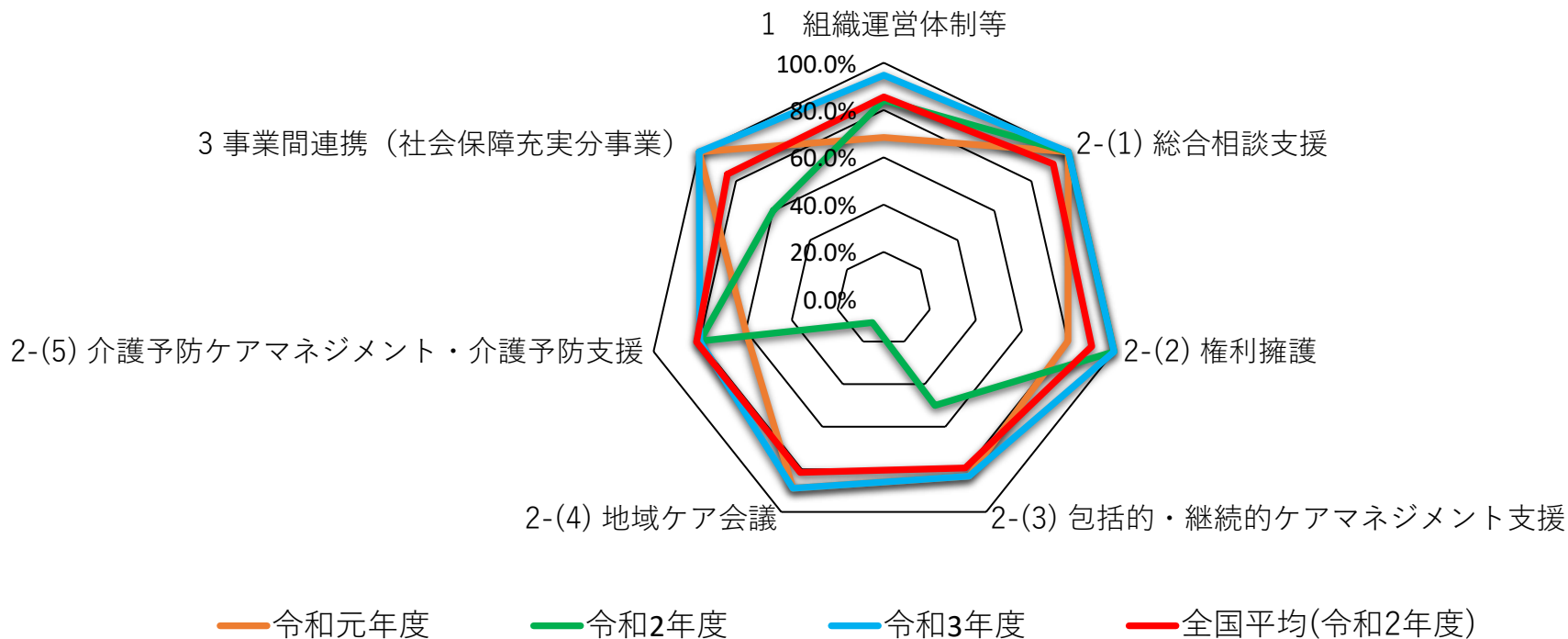
■レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は $4/6 = 66.7\%$ (小数点2位を四捨五入) となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	全国平均 (令和2年度)
1	1 組織運営体制等	68.4%	84.2%	94.7%	85.6%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	100.0%	91.8%
3	2-(2) 権利擁護	80.0%	100.0%	100.0%	90.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	83.3%	50.0%	83.3%	79.4%
5	2-(4) 地域ケア会議	88.9%	11.1%	88.9%	81.5%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	60.0%	80.0%	80.0%	81.4%
7	3 事業間連携 (社会保障充実分事業)	100.0%	60.0%	100.0%	84.8%



1. 味岡地域包括支援センター岩崎あいの郷の評価結果

- ・前年度と比較し、「組織運営体制等」「包括的・継続的ケアマネジメント支援」「地域ケア会議」「事業間連携」の項目で評価が上がりました。
- ・特に「地域ケア会議」は新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら開催できたことが要因であると考えます。
- ・引き続き新型コロナウイルス感染症対策を施しながら、地域ケア会議の開催や多職種連携の取り組みに期待します。

2. 運営協議会からの意見等

県営住宅は住んでいる方が高齢化しているため、訪問販売といった、住民に興味を持ってもらえるようなものを活用して、相談につなげるといった活動は大切であり、8050問題や障がいを抱えている方といった見えづらい方の情報収集をする工夫をすることはとても重要で、今後も継続していただきたい。

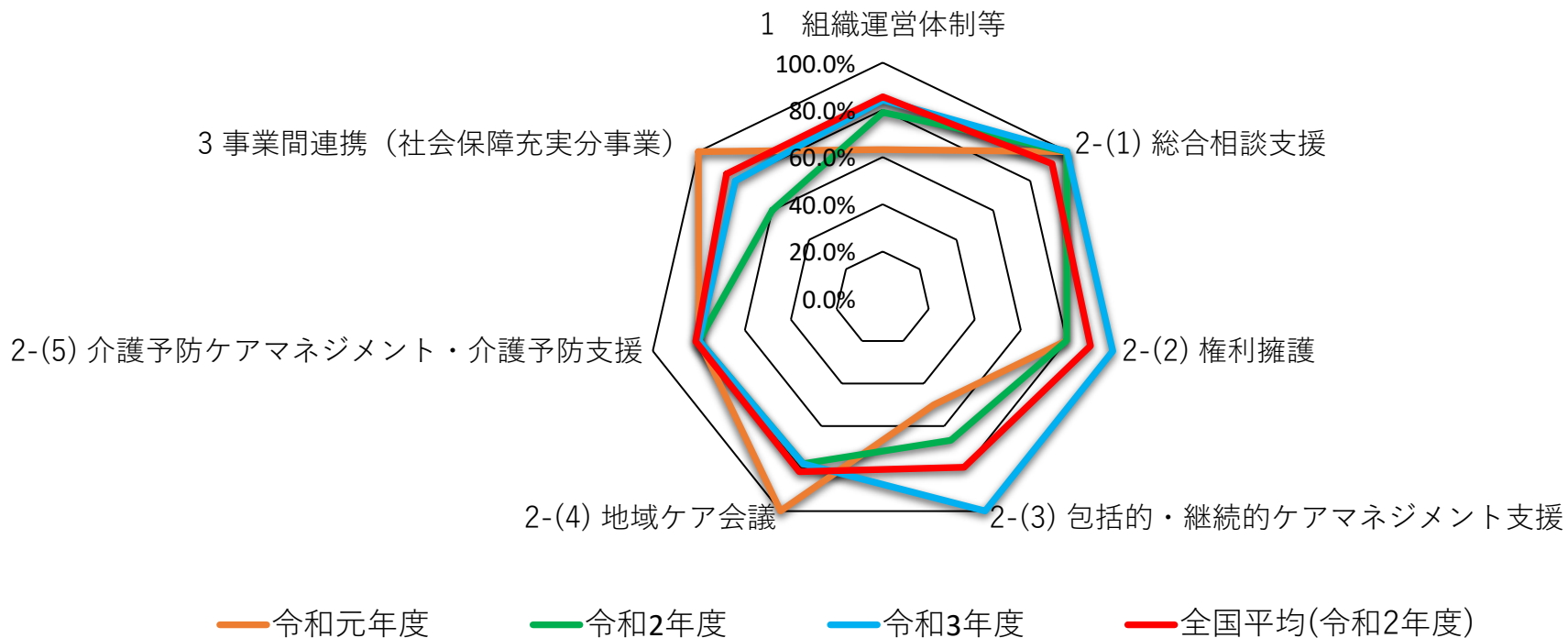
■レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は $4/6 = 66.7\%$ (小数点2位を四捨五入) となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	全国平均 (令和2年度)
1	1 組織運営体制等	63.2%	78.9%	84.2%	85.6%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	100.0%	91.8%
3	2-(2) 権利擁護	80.0%	80.0%	100.0%	90.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	50.0%	66.7%	100.0%	79.4%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	77.8%	77.8%	81.5%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	80.0%	80.0%	81.4%
7	3 事業間連携 (社会保障充実分事業)	100.0%	60.0%	80.0%	84.8%



1. 篠岡地域包括支援センター小牧苑の評価結果

- ・「権利擁護」の項目については、消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上で対応を行ったことで評価が上がっています。
- ・「包括的・継続的ケアマネジメント支援」や「事業間連携」についても、新型コロナウイルス感染症の対策を行い、情勢に合わせた会議方法で実施したことで評価が上がりました。
- ・篠岡地区は市内でも一番、高齢化率が高い圏域であるため、今後も組織運営体制の安定と維持に努め、安定した事業運営に期待します。

2. 運営協議会からの意見等

支えあいのすゝめのような実践方法を地域協議会へ取り入れていけるようになると良い。
なかなか他者に相談ができない方が気軽に相談できるよう、民生委員や地域包括支援センターが自然な形で地域の方々と関係がもてるとよい。

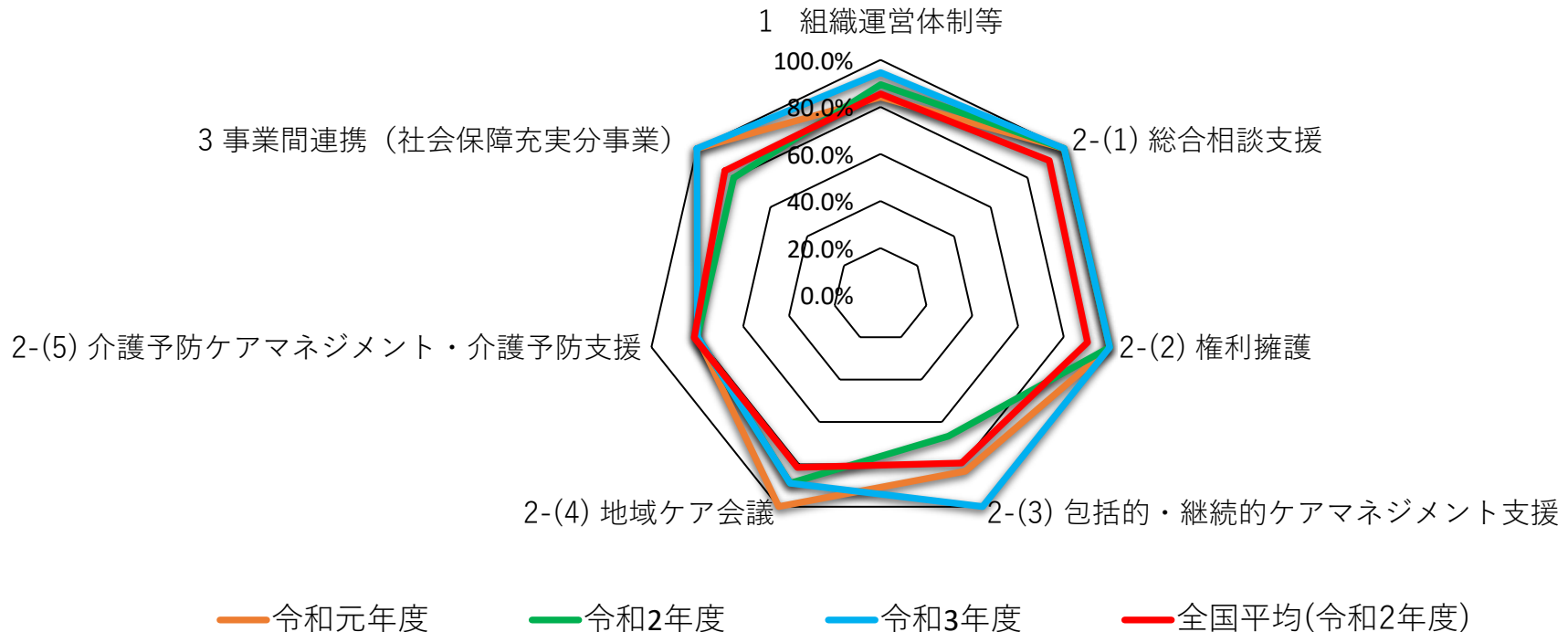
■レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は $4 / 6 = 66.7\%$ (小数点2位を四捨五入) となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	全国平均 (令和2年度)
1	1 組織運営体制等	84.2%	89.5%	94.7%	85.6%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	100.0%	91.8%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	90.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	83.3%	66.7%	100.0%	79.4%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	88.9%	88.9%	81.5%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	80.0%	80.0%	81.4%
7	3 事業間連携 (社会保障充実分事業)	100.0%	80.0%	100.0%	84.8%



1. 北里地域包括支援センターゆうあいの評価結果

- ・「包括的・継続的ケアマネジメント支援」や「事業間連携」については、新型コロナウイルス感染症の対策を行い、地域ケア会議や医療関係者との連携に努めたことから、評価が上がりました。
- ・「総合相談支援」や「権利擁護」など個別ケースに関する事項については評価が高いことから、継続して取り組んでいただくことを期待します。

2. 運営協議会からの意見等

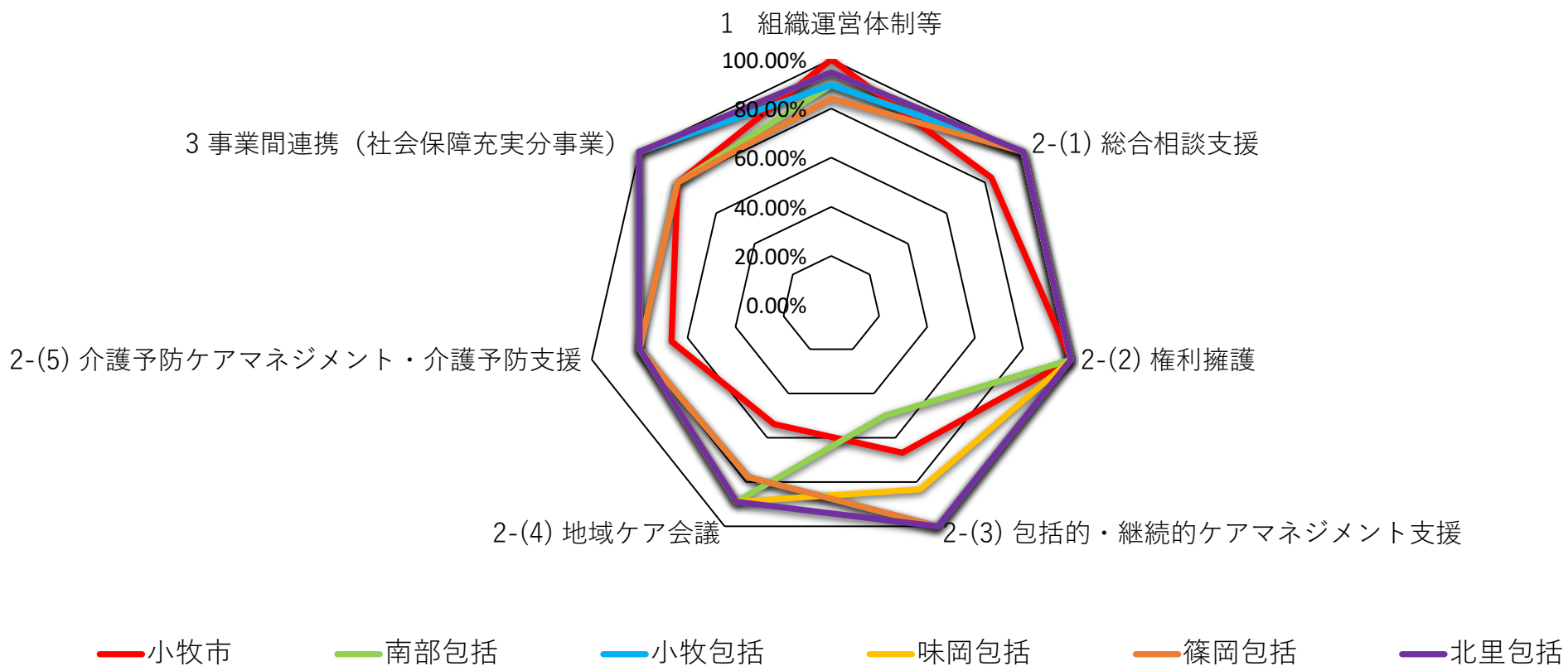
コロナ禍であったが令和元年から令和3年まで事業が安定しており、当初からWithコロナを意識して取り組んでいたのがよかった。

また、地域ケア会議の事例が自発的にあがってきており、包括がしっかりと事例を取り上げて一定の方向性を示すことが出来ている。

令和3年度の評価結果の比較

資料 1

令和3年度		小牧市	南部包括	小牧包括	味岡包括	篠岡包括	北里包括
1	1 組織運営体制等	100.0%	89.5%	89.5%	94.7%	84.2%	94.7%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	66.7%	50.0%	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%
5	2-(4) 地域ケア会議	53.8%	88.9%	77.8%	88.9%	77.8%	88.9%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	66.7%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	80.0%	80.0%	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%



1. 令和3年度の評価結果の比較

- ・令和3年度は、各包括ともに組織運営体制が改善・維持できており、引き続き、人員確保と安定した運営ができるよう取り組んでいく必要があります。
- ・また、「総合相談」や「権利擁護」など、個別支援に関する項目については、全包括が高い評価となりました。
- ・今後も新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら新しい生活様式に沿った活動と支援を工夫し、実践しながら、この状態を維持できるように努めていきます。

2. 運営協議会からの意見等

こまき山体操の中に口腔機能低下症を予防するトレーニングが入っていないため、オーラルフレイルの観点からも口腔機能向上のトレーニングを追加していただきたい。